

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

(単施設研究用)

西暦 2019年6月5日作成 第1版

研究課題名	日本人女性における授乳と分娩後の母体の体重変化に関する研究 (エコチル調査のデータ解析より)
研究の対象	2011年1月から2014年3月末までエコチル調査に登録された103,062例の日本人の妊産婦の女性を対象とします。
研究目的 ・方法	妊娠中や産後は、母体の生理的な変化やホルモン変化の影響で、体重増加や体型変化が起こりやすい時期です。授乳は母児ともにメリットがあることが報告されていますが産後の母体の体重管理における授乳の役割は明らかではありません。授乳は産後の体重を減少させる効果があるとする報告もあれば、授乳は母体の体重および体形変化に影響を与えないとする報告もあり、未だ一定の見解が得られていません。 そこで本研究では、「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を基に約10万人という多数の日本人の女性を対象として、授乳が産後の母体の体重変化に与える影響を明らかにすることを目的とします。
研究期間	西暦 2019年 7月 26日 ~ 西暦 2021年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	エコチル調査に参加登録した女性で、エコチル調査コアセンターより提供されたデータセットに登録されたものを対象者として扱います。 登録時（妊娠前）の情報：最終学歴、世帯年収、妊娠前体重、合併症 妊娠後期～分娩時の情報：喫煙（能動および受動を含めて）、在胎週数、分娩様式、分娩時体重、妊娠合併症（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病など） 産褥1ヶ月、6ヶ月の情報：母体の体重、母乳・人工栄養の有無、期間、母乳・ミルクの回数
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、本研究は匿名化されたデータの提供を受けて行います。当院では個人を特定することができませんので、ご連絡を頂いた場合でも特定の方のデータを除くことはできないことをご了承下さい。</p>	
<p>問合せ先：</p> <p>〒232-0024 （所在地）横浜市南区浦舟町 4-57 （所属機関）横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター （研究責任者）高見 美緒 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5784</p>	